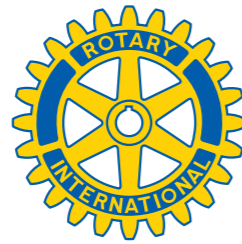


2011—2012 ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

4



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2011—2012

GOVERNOR

TAKAKI KUMAZAWA



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー第2510地区

2011～2012年度 ガバナー 熊澤隆樹

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F

TEL (011)207-2510 FAX (011)207-2512

e-mail : rid2510@nifty.com



2011-2012年度国際ロータリーテーマ

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

Reach Within to Embrace Humanity



国際ロータリー第2510地区2011-2012年度 地区目標

- I ロータリーの活動を担う新しい会員を増やすこと
- II クラブは(全会員参加型の)新しい奉仕活動を年度内に一つ行うこと
- III まわりの人にロータリーを巧みに語り伝えること

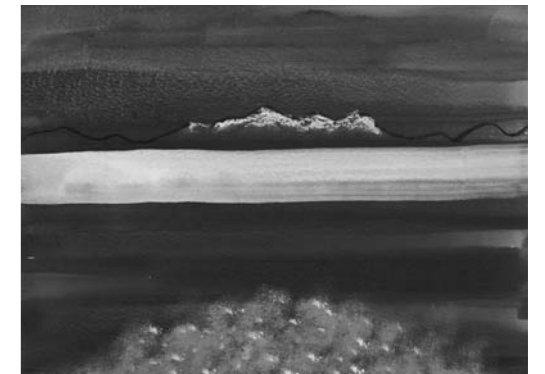
CONTENTS | 目次

ガバナーメッセージ	1
2012-2013年度 各種セミナー開催報告	2
IM (都市連合会) を終了して	4
IM報告「ロータリーの素晴らしさを話し合おう！」	5
第6グループIMを終えて	6
地区新世代委員会開催報告	7
DDF (地区財団活動資金) 活用に関するアンケート調査結果について	8
第22回日本ロータリー親睦ゴルフ北海道大会のご案内	10
新千歳空港国際線ターミナルビル募金箱設置事業/ 米山寄付、ロータリー財団寄付	11
新会員のご紹介/訃報/クラブ事務所所在地の変更について/文庫通信	12
地区カレンダー (4月・5月)	13
出席率・会員数	14

小樽公園から暑寒別岳をのぞむ

春のある日、小樽公園から日本海の対岸に見える暑寒別岳。雪をかぶっている。小樽港はまっ青なのに一筋まっ白な太い線になっている。まるで抽象画の世界だった。自然界にはこういう光景に時として出会うことがある。というより、意識して見ればしょっちゅう出くわす。宇宙が生きている証なのかも知れない。

小樽ロータリークラブ会長 金久保 兵士郎 作



表紙絵：私の残したい小樽シリーズ
「花園公園から増毛連山を望む」 HEISHIRO.K



「ロータリーを学ぶ！」

国際ロータリー第2510地区

2011-2012年度 ガバナー

熊澤隆樹

(小樽RC)

今、地区内でIM（都市連合会）が各グループで開催されております。これは、私の年度では、IMをロータリアンの研修の場と位置づけるように、ガバナー補佐の方々にお願いしてまいりましたが、これを受けて、様々な工夫をされた会合がもたれております。第3グループでは早々と11月5日（土）に地元出身の外交ジャーナリスト、手嶋龍一氏を招いての『北の大地、その新たな針路を考える』という演題での講演は参加者皆さんに非常に感銘を与えるものでした。第9、第11グループのIMについては、月信3月号で各々、特色のある研修がなされ、また会員の交流の場となっていることが記載されておりますのでご一読をお願いいたします。

私は、ガバナーノミニーの時から、国際ロータリーに関する情報が個々の会員まで伝わりにくい組織になっている現状を見て、IMを機能させることで、これを少しでもカバーできるのではないかと考えてきました。学校で「学ぶ」という時、医系・理系では講義と実習があります。ロータリーの奉仕活動は、実践哲学といわれ、行動が伴いますので知識だけでは駄目で、奉仕の実践から学ぶことが大切であることはご承知の通りであります。1月号の月信で青木功喜会員（札幌東RC）が昨今の奉仕活動のあり方に危惧を抱かれており、決議・23-34を勉強することを問われたと私は感じておりました。しかし、ポール・ハリス自伝の「ロータリーの理想と友愛」の中で、『ロータリーが発展してさらに飛躍を見ようとするには、必ずや試練に遭遇し、あるいは錯誤に陥ることも免れない。』と過ちを恐れるなど述べております。私たちは、ひとまず国際ロータリーの会員として、RIの戦略計画（これまで長期計画）にそってクラブ運営をしていくことが、私どもに課せられていると思います。その上去年度の田中作次RI会長も、このRI戦略計画の重要性について述べております。ですから、新しい情報をしっかりと学ぶ姿勢が求められており、この戦略計画の三本柱に改めて注目して下さい。

一般会員にとって、ロータリーの知識は入会時のインフォメーション、例会での会報（ロータリー用語の学習）、炉辺会、地区協議会、地区大会、国際大会、そして各種のセミナーで得ることができます。そして、会長にはPETS（会長エレクト研修セミナー）、ガバナーにはGETS（ガバナーエレクト研修セミナー）、ロータリー研究会そして1週間にわたる国際協議会が用意されています。一般会員にとっての多くの情報は「ロータリーの友」よりもたらされます。他に「手続要覧」、「ロータリー章典」があります。一番身近な「ロータリーの友」は残念なことにこの数十年にわたって年間100万部以上のベストセラーを続けておりますが、購入されているが読まれていないのが実情です。もう少し読まれれば、ロータリアンの意識も高まり、今の会員減少の打破となる一つの道になると思っています一人であります。手続要覧の標準ロータリークラブ定款の第14条の第1節には数少ないロータリアンの義務の一つとして購読の義務が記されています。（ロータリー雑誌月間にあたり一言）

最後に嬉しい出来事があります。一つ目は、千歳RCと千歳セントラルRCが共催で3月11日の東日本大震災を風化させないと、来賓として市長・商工会議所会頭を招き、チャリティ・パーティーを開催されたこと（詳しいことは次号で）、そしてまた二つ目は、当地区財団学会が創立10周年記念祝賀会を2月11日に盛大に開催し、その場に昨年発足したばかりの日本ロータリー学友会の会長、中井田氏が福岡から来道され、来賓としてのご挨拶の中で全国一の学友会とお褒めの言葉をいただいたこと、この日の祝賀会の運営はまさに新しいロータリークラブの誕生を思わせるもので、これまで育てあげて来られた地区役員、そして学友会会員の皆様の努力に対して、改めてこの紙面を借りてお祝いを申し上げます。



2012-2013年度 各種セミナー開催報告

地区チーム研修セミナー・ ガバナー補佐研修セミナー

国際ロータリー第2510地区

次期地区幹事 **出口 弘 史**
(三石RC)

去る2月25日(土)午前10時から、2012-13年度地区チーム研修セミナーが次期ガバナー補佐及び次期地区委員長参集のもと、ホテルライフオー札幌において開催されました。

冒頭に熊澤隆樹ガバナーよりご挨拶、引き続き細川好弘ガバナーエレクトからご挨拶と出席者の紹介がありました。国際協議会報告では次年度R1テーマ「奉仕を通じて平和を」および次年度地区目標がガバナーエレクトから発表され、丸山淳士次期地区研修リーダーから「細川年度に備えて」の講演が行われました。

中山弘三郎次期地区代表幹事から次年度の地区組織図が紹介され、次年度年間スケジュールについて説明があり、蚊野好美次期地区財務委員長より次年度地区予算案について説明されました。

昼食の後は次期地区ガバナー補佐の自己紹介、次期地区委員長の自己紹介、次期地区幹事・次期地区財務委員・次期ロータリーの友地区代表委員の自己紹介があり、熊澤ガバナーの講評の後、安孫子建雄ガバナーノミニの挨拶があり閉会となりました。



2012-13年度地区ガバナー補佐研修セミナーが、地区チーム研修セミナーに引き続き開催されました。熊澤隆樹ガバナー、細川好弘ガバナーエレクトの挨拶の後、「クラブとの協力・問題解決について」と題して、丸山淳士次期地区研修リーダーからの講演のあと各ガバナー補佐による意見交換が行われ、担当グループ内各クラブの課題や問題点、地区運営に関する意見要望などについて活発な議論が交わされました。細川好弘ガバナーエレクトの所感表明、安孫子建雄ガバナーノミニの閉会の挨拶で会議を終了しました。

会長エレクト研修セミナー及び ロータリー財団セミナー・米山セミナーの報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区幹事 **山田 一 孝**
(静内RC)

去る3月10日(土)、11日(日)の両日にわたり、会長エレクト研修セミナーとロータリー財団セミナー・米山セミナーが新ひだか町において開催されました。

新ひだか町公民館で開催された会長エレクト研修セミナーは点鐘のあと、細川好弘ガバナーエレクトから地区役員・次期ガバナー事務所スタッフなどが紹介され、次年度のR1テーマ「奉仕を通じて平和を」及び

次年度目標が発表されました。次に丸山淳士次期地区研修リーダーよりクラブ会長の責務、酒井正人次期地区研修委員より地区指導者との協力・クラブの管理運営について講話があり、蚊野好美次期地区財務委員長から次年度予算案の説明、中山弘三郎次期地区代表幹事から地区組織図案・年間予定・公式訪問日程の発表がありました。

昼食後は6つのグループに分かれて部門別テーマと共通テーマについて真剣な討議が行われ、グループの代表者により内容の発表がありました。また阪崎健治朗地区大震災救援奉仕プロジェクト委員長より東日本大震災救援奉仕事業について報告があり閉会となりました。

静内ウエリントンホテルに会場を移して懇親会が行われ、熊澤隆樹ガバナーの開会の挨拶、丸山淳士次期地区研修リーダーの乾杯の発声により和やかな歓談が始まり、「手に手つないで」の合唱により閉会しました。

翌日、静内ウエリントンホテルを会場にロータリー財団セミナーおよび米山セミナーが開催されました。昨日から引続き出席の会長エレクトに次期クラブ財団委員長及び次期米山委員長が加わり会議場は熱気に包まれました。この日が東日本大震災から丁度満一年にあたるため、会議に先立ち震災の犠牲者に黙祷が捧げられ、次いで細川好弘ガバナーエレクトの点鐘で開会されました。

ホストクラブの三石RC、八木一洋会長の挨拶のあと、細川好弘ガバナーエレクトから本日のロータリー財団セミナーは財団の「未来の夢計画」に基づく地区補助金管理セミナーを兼ねていると前置きがあり、プログラムの進行は久保田次期地区補助金委員長に引き継がれました。このあと岩城秀晴次期地区ロータリー財団委員長よりロータリー財団の現況について、中山裕視次期地区新地区補助金委員長より地区補助金について、神部洋史次期地区職業研修委員長より職業研修について、矢橋潤一郎次期地区奨学委員長より国際親善奨学金について、齊藤博司地区財団学友委員長より財団学友会について、久保田俊昭次期地区補助金委員長より未来の夢計画について、鍋谷操子次期地区財団資金推進委員長より財団の寄付について、それぞれ説明がありセミナーを終えました。

引き続き開催された米山セミナーは地区役員・米山奨学生の紹介のあと黒澤勝昭地区米山記念奨学委員長の司会により進行され、伊藤長英米山記念奨学会理事の米山記念奨学会の現況、黒澤勝昭米山記念奨学委員長の米山奨学会寄付について、大石春雄地区米山学友委員長の米山学友会についての説明のあと、ベトナム出身で札幌大学大学院修士課程在学中の米山奨学生グイエン・ティ・ルイエンさんの話を聞き、細川好弘ガ

バナーエレクトの所感、熊澤隆樹ガバナーの講評の後、閉会となりました。





IM
報告

IM(都市連合会)を終了して

第2510地区 第2グループ

ガバナー補佐 **滝 勝美**
(芦別RC)

2011-2012年度 R I 第2510地区第2グループ IM (都市連合会) が芦別 RC をホストクラブして、2月10日(金)開催されました。地区ガバナー補佐の点鐘、各クラブ物故者、東日本大震災犠牲者に対して黙祷。吹雪、豪雪の中100名の会員登録、ご参加戴き盛会裏に開催する事ができました。

予定では地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会、堀江副委員長からの委員会活動報告が行われる予定でしたが、直前に体調不良との事で急遽、熊澤ガバナーの総評に加えて地震報告も含めさせて戴きました。プロジェクト (浜田地区幹事) を使い、2011年3月11日(金)に地震発生した直後からの支援活動について、そして今後に向けての地区大震災救援奉仕プロジェクト委員会の取組みと更なる「1000万円の支援金目標」としてお願い、「現金送金」から「被災地との協同事業を資金に充当」と変化してきている事も報告されました。

当面、佐々木ガバナー年度、熊澤ガバナー年度、細川ガバナー年度の3ヶ年は活動期間とする必要性が熱く語られ、第2グループも第1、第3グループと共催プログラムに「ロータリアン魂」の発揮に期待したいところであります。そのロータリアン魂にも会員(仲間)増強が必要で、各クラブ共通の課題として取り上げ、情報の伝達も大事であり、ロータリアンの絆が更に深く、強く、太くと思ひます。

IMの講演講師としては、芦別が生んだスーパースター、ようへいこと、STVラジオ Yo! Hey! サンデーのメインパーソナリティ、堀川陽平氏に「都市と地方と時々あしべつ」と題して講演戴きました。毎週日曜日12時30分から17時までの4時間半も全道179市町村をレポートして、落語で鍛えた話し方で喋りまくっております。参加クラブの街のレポートが増え、ラジオから情報が発せられる事かと!

IMの狙いでもあります懇親会は、芦別スターライトホテル自慢の料理の数々、アトラクションとして、会員自ら「手打ちそば」を実演、食味をさせて戴き、さらにお土産として(買い)お持ち戴きました。



平日の夕刻からの開催、そして豪雪、吹雪の中、芦別駅から7キロ山奥までお越し戴きました事に感謝申し上げますと共に御礼申し上げます。

芦別市長、清澤茂宏氏からの歓迎のご挨拶も戴き、皆さん無事帰路に着く事ができたかが心配しておりましたが、ロータリアンの絆が明日へ繋がりますように!!



IM
報告

「ロータリーの素晴らしさを話し合おう！」

～本音で語り“絆”を強めよう～

第2510地区 第10グループ

ガバナー補佐 **柴田 繁男**
(函館RC)

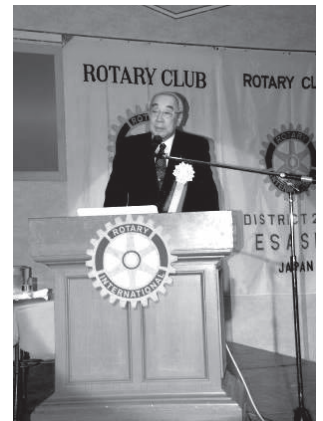
去る2月18日(土)午後3時より第10、11グループ合同のIMが函館国際ホテルにて開催されました。本年度熊澤ガバナーはクラブ会員全員参加の実現と、IMはロータリーを学び勉強する機会にしてほしいと訴えておられました。その要請を受け、各クラブ訪問や会長幹事会の際、全クラブ全員参加、全員登録をお願い致しましたが、各クラブの会長、幹事さんの速やかな判断と指導力をもって全員登録のIMとなりました。

IMテーマについては、多様で変化の激しい世界で、本来あるロータリーの親密な人間関係が失われてきていることから、再び絆を強めるために今一度ロータリーについて、その魅力について、お互いの心の中を見つめて、本音で話し合おうと上記に決定いたしました。

当日は午後3時に点鐘、国歌、ロータリーソング斉唱の後、東日本大震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げたあと、国立金助IM運営委員長の言葉で開会されました。

熊澤ガバナーより東日本大震災への支援報告とお願いの挨拶、基調講演では「ロータリー…この素晴らしきもの」と題して塚原房樹パスト・ガバナーよりロータリーの歴史と哲学のお話を拝聴いたしました。

続いて10、11グループより在籍4年から23年の9名の会員より「私にとってのロータリーの素晴らしさとは…」と題してパネルディスカッションが行われました。酒井正人パスト・ガバナーのコーディネートのもと9名の会員がロータリーについてそれぞれの立場で語られ、酒井パスト・ガバナーの絶妙な進行のせいか、大いに盛り上がり会場の会員には色々な思いを巡らせる機会になったと思います。



IMを通じて、自分達が入会した頃のことを振り返り、現在のロータリーでの活動は満足出来るものなのか、将来にわたりお互いに思いやることから始めて、基本的な人間としての価値観、共感、高潔さを大切に、家族を愛し、職場を大事にし、地域社会に奉仕するロータリーの任務をどう果たしたらいいのか…一人一人心の中を見つめて今後のロータリー活動の指針に繋いでいただくことを心より祈念いたしました。

第6グループの蘭越RCの志比川会員、第10、11グループ355名の全員登録、当日出席242名、懇親会205名のご参加を頂き有難うございました。会場入りが、JRの遅れのため一時間過ぎてからというハプニングがあった熊澤ガバナーより「ロータリー」と正面から向き合った「ロータリー」を考えるいいIMだったとご講評を頂きました。

終わりに、熊澤ガバナー、塚原パスト・ガバナー、酒井パスト・ガバナーのご出席を心より感謝申し上げますと共に、第10グループ、11グループの会員の皆様方のご協力、国立運営委員長始めIM役員の皆様のご尽力に心より感謝を申し上げます。



IM
報告

第6グループIMを終えて

第2510地区 第6グループ

ガバナー補佐 **谷内 馨一**
(小樽RC)

昨年10月、小樽に於いて開催した第2510地区大会が終了し、小樽クラブ会員ほっと一息をするもつかの間、翌11月に『IM実行委員会』を結成。IM当日まで延べ数回に亘り実行委員会を開催しながら準備を重ねてまいりましたが、2月26日(日)、雪深い赤井川村キロロリゾートに於いて、熊澤隆樹ガバナー、細川好弘ガバナーエレクト、清水 哲地区大震災奉仕プロジェクト委員(札幌東RC)にご臨席をいただき、第6グループ『IM』を開催致しました。リゾート地でもあり、山岳地帯での開催ですので、参加者が少ないことが懸念されましたが、その心配も杞憂に終り、登録206名、当日参加者130名という多くの会員の参加をいただきました。ここに改めて皆様のご協力に感謝を申し上げる次第です。

冒頭、熊澤ガバナーより『人数が多く、勉強する雰囲気ではない地区大会では、“楽しさを追求”し、そしてこの様なIMでは、“ロータリーを学ぶ”場として有意義な時間を作っていただきたい』という今回の意義に触れるご挨拶の後、清水 哲 地区大震災奉仕プロジェクト委員から約20分に亘り、これまでの支援報告並びに今後取り組んでいく第3次支援の内容について約20分に亘り説明。休憩後、2つの分科会会場に別れて本日のメインプログラムが始まりました。

IMテーマを『ロータリーの原点に学ぶ』とし、第1分科会のサブテーマが『例会の活性化と広報のあり方』、第2分科会は『RCの奉仕活動の実践について』と題し、コーディネーター、パネリスト4名、アドバイザーが夫々テーマに沿って、これまでの体験、問題点、今後の課題について意見交換が始まったが、コーディネーター、パネラーは勿論のこと参加者全員が真剣に取り組んでいた姿が印象的でした。

第2分科会では、大震災に対し直接現地へ赴き、真心と絆の大切さを実感した小樽RC(佐藤勝次会員)、余市RC、蘭越RCの体験奉仕は生きた活動事例として参加者に感銘を与えました。また、第1・第2分科会ともに共通した問題としては、会員減少問題、新世代奉仕、中でも新世代(米山奨学生、ローターアクト・インターアクト)とRC入会への結びつけ等が論点になり、またこの間、第1分科会では熊澤ガバナー、第2分科会では細川ガバナーエレクトからも適切なるアドバイスもあって、休憩を取る時間もなくなちまちにして予定の2時間が経過するという熱気溢れる分科会になりました。質実ともに有意義な内容となり大きな収穫のあったIMであったと思います。参加者の方々には改めて敬意を表すると共に感謝を申し上げます。

全体会議では、夫々清水(小樽クラブ)、三山(小樽クラブ)コーディネーターから討議された内容、課題について報告があり、最後に私の講評挨拶で『ロータリーは究極は自己研鑽の場』であることを強調して全体会議を終了致しました。

その後、会場を移し和やかな大懇親会が行われ、小樽商大生のチアダンス部『ドルフィンズ』(7名)による華やかなアトラクションを楽しみ、そして次年度谷川ガバナー補佐(余市クラブ)、各会長・幹事による所信表明に続き、締め括りとして西條IM実行委員長が、『キロロで開催したのはよかった。何故なら誰もエスケープが出来ず、最後まで全員が参加していたからです。』(爆笑)と挨拶されたように多くの会員が最後まで参加することで、一人一人のロータリアンの熱い気持ちが一つになった素晴らしい『IM』でありました。



懇親会

その盛り上げの影には「ホテルピアノ」の総支配人である櫻井会員(小樽クラブ)のキメ細かなご配慮、キビキビした従業員の方々の気配り・サービスに参加者から感嘆の声が出ていたことを最後に付け加えさせていただきます。



熱気溢れる第1分科会

地区新世代委員会開催報告

2012年3月4日(日) 13時30分～15時30分
ルネッサンスサッポロホテル

地区新世代委員会

委員長 **柳 孝一**
(札幌南RC)

今年度は、2010年4月に行われた規定審議会で「第五奉仕部門、『新世代奉仕』を加える件」が承認、標準ロータリークラブ定款が改正され、本格始動した年であり、地区新世代委員会も手探りの中、今日まで活動してまいりました。

これから地区内で全国の青少年交換担当のロータリアンとROTEXが一堂に会する第17回青少年交換研究会（札幌会議）の開催や次年度開催されるRYLAセミナーの準備等が控えており、それにあわせ後残り4か月を切りましたが、地区委員会が呼びかけ、クラブの現新世代委員長と次期新世代委員長の皆様にお集まりいただきました。日曜日にも関わらず63名の皆さんにご出席をいただきました。

まず熊澤ガバナーから、地区大会の並行プログラムとして行われた、新世代プログラムのお礼を兼ね、ご挨拶をいただきました。

その後、地区の現況を新世代委員長、若松地区インターアクト委員長（札幌モーニングRC）、蝦名地区ローターアクト委員長（札幌南RC）、渡辺地区青少年交換委員長（札幌東RC）から報告がありました。日本青少年交換研究会札幌会議の説明と登録のお願いを渡辺地区青少年交換委員長から、10月に行われる地区大会の案内を次期地区大会担当の不動地区幹事（静内RC）にお願いし、その際に行われるRYLAの紹介を次期村田地区RYLA委員長（札幌南RC）にいただきました。前後しましたが、私からRYLAの必要性と次期委員会が設置される経緯についてお話をさせていただきました。

今回資料として、細川ガバナーエレクトが国際協議会で受けた講演を活字にし、地区グループリーダー研修に配られたRIの海沼RYLA委員「クロスプロモーションで新世代奉仕を」という資料を使いました。交換留学生としてフランスに1年間の留学後、ROTEXとして活動し、RYLAに参加し、その後自ら大学でローターアクトクラブを創設させたケースを紹介しました。

その後質疑応答で、「新世代委員会」から次年度「新世代奉仕委員会」に名称変更になることや青少年交換研究会札幌会議でもクラブでの登録目標や、インターアクトの活動内容等応答があり、最後に細川ガバナーエレクトから講評をいただきました。次年度の地区目標が「ロータリーを新世代と共に未来に繋げよう」を一番目に掲げられた説明、その解説をされました。

クラブの新世代委員長にお集まりいただいた委員会は初めてでしたが、予定通り有意義な2時間であったこと、閉会后熊澤ガバナーにお褒めをいただいた事で、準備に追われた時間のねざらいになりました。

最後に開会30分前に大泉青少年交換委員（札幌モーニングRC）に司会をお願いし、流れるような進行をしていただいた事にあらためてお礼申し上げます。



第17回日本青少年交換研究会(札幌会議)

日時 2012年4月28日(土) 12:00 登録開始 13:00 開会
2012年4月29日(日) 12:30 閉会

場所 札幌パークホテル 〒064-8589 北海道札幌市中央区南10条西3丁目1-1
TEL 011-511-3131 FAX 011-531-8522

登録料 10,000円 懇親会 3,000円(希望者のみ) 日時 28日(土)18:30～

実行委員会事務局

〒001-0020 札幌市北区北20条西4丁目2-17 北陽ビル3階301号 TEL 011-729-2510 FAX 011-729-2512

〔連絡先〕 ●実行委員長(新世代委員長) 柳 孝一(札幌南RC) TEL 090-3018-5823
●総務委員長(青少年交換委員長) 渡辺 哲則(札幌東RC) TEL 090-3114-1710



DDF(地区財団活動資金)活用に関する アンケート調査結果について

地区ロータリー財団委員会

委員長 **岩城 秀 晴** (札幌南RC・PG)

地区補助金委員会

委員長 **久 保 田 俊 昭** (札幌RC)

ロータリー財団では、2013年度から本格実施される「未来の夢計画」に向かって、全世界100パイロット地区（日本6地区）での進捗状況を念頭におきつつ、各種のプログラムを推進しているところであります。

財団の「未来の夢計画」については、ロータリーの友や各種会合で説明をお聞きしてご承知のことと思いますが、従来の補助金制度と異なり、クラブや地区での自主性が高まり、弾力的な運用が可能になります。

他方、クラブや地区での奉仕プロジェクトの進め方、進捗管理方法、取りまとめ結果報告の仕方等について、新しい制度の下での責任ある管理方策が求められます。

地区の財団関連委員会では、2013年度以降のスムーズな実施に向けて諸検討を行っていますが、当地区での主体的活動を進めていくうえでクラブのご意見を伺うべく、先般、標記のアンケート調査を実施させて頂きました（調査期間は2月の一ヶ月間）。

大変お忙しい中、ご回答を頂きましたクラブの関係者に厚く御礼を申し上げ、下記にその結果を記します。

I. 2012～13年度において、地区補助金の申し込みを考えていますか？

回答1：考えている	⇒20クラブ (33%)
回答2：今後検討する	⇒25クラブ (40%)
回答3：考えていない	⇒16クラブ (27%)

II. 過去、海外での奉仕プロジェクト活動（WCS、MG）等に参加されたことがありますか？

回答1：継続的に参加している	⇒ 8 クラブ (13%)
回答2：毎年ではないが参加した事がある	⇒24クラブ (39%)
回答3：参加した事がない	⇒29クラブ (48%)

III. 2013～14年度から本実施される「未来の夢計画」についてご存知ですか？

回答1：十分知っている	⇒ 7 クラブ (12%)
回答2：聞いてはいるが内容は詳しくは知らない	⇒39クラブ (65%)
回答3：全く知らない	⇒14クラブ (23%)

IV. 2013～14年度からの補助金の活用についてお伺いします。

回答1：新地区補助金の申請を考えている	⇒12クラブ (20%)
回答2：グローバル補助金の申請を考えている	⇒ 0 クラブ (0%)
回答3：両方の補助金の申請を考えている	⇒ 6 クラブ (10%)
回答4：様子を見て数年後に考える、または当分その考えはない	⇒42クラブ (70%)

V. IVの質問で、回答2または回答3と回答されたクラブのグローバル補助金の計画段階についてお伺いします。

回答1：これから計画する	⇒ 5 クラブ (63%)
回答2：過去から継続しているプロジェクトである	⇒ 3 クラブ (37%)



VI. IVの質問で、回答4と回答されたクラブにその理由をお伺いします。

- | | |
|--|--------------|
| 回答1：会員数が少ないので奉仕プロジェクトの計画が難しい | ⇒14クラブ (35%) |
| 回答2：未来の夢計画を理解していないので
クラブ内の考えを纏められない | ⇒14クラブ (35%) |
| 回答3：単独での計画は難しいが、
他のクラブに協賛して協力するのはやぶさかではない | ⇒12クラブ (30%) |

VII. 当地区の奉仕プロジェクトの重点方策についてご意見をお伺いします。

- | | |
|---|--------------|
| 回答1：始めから枠の設定をせず、
申請された奉仕プロジェクトの内容によって決めて欲しい | ⇒33クラブ (63%) |
| 回答2：教育的奉仕（奨学金）の割合を大きくして、
できるだけ地元に関係する奉仕に重点を置くのが良い | ⇒12クラブ (23%) |
| 回答3：人道的奉仕と教育的奉仕共に50%とし、
グローバル補助金と新地区補助金も50%とするのが良い | ⇒6クラブ (12%) |
| 回答4：グローバル補助金の割合を大きくし、
人道的奉仕と海外への奉仕に重点をおくのが良い | ⇒1クラブ (2%) |

アンケート調査の結果から、次のようなことが伺われます。

- ① ここ数年の地区補助金申請のクラブ数は10数箇所に留まっていたが、財団資金活用クラブ数が増えることが想定される。
- ② 海外での奉仕活動の高まりが感じられる。
- ③ 未来の夢計画の認知度は低いと言わざるを得ないが期待も大きい。今後、クラブに対する啓発が肝要である。
- ④ クラブ単独による奉仕プロジェクトの実践も重要であるが、地区委員会（国際奉仕、社会奉仕）のアレンジによって、クラブ同士が共同して総合的なプロジェクトを実施することも考えられる。
- ⑤ 地域での独自性の発揮、地域に根ざした奉仕活動を実践するうえでも、クラブの要望に対して弾力的に対応する必要がある。

なお、クラブからは、奉仕活動に関して、下記に示すような建設的なご意見を頂きましたのでご紹介します（紙面の都合により、一部のみのご紹介になったこととお詫びします）。

- ① ロータリー財団は遠い存在（中々利活用が困難）から、地区に密着したものになることを切望する。
- ② 最近の事業内容は、固定化し過ぎているきらいがある。
- ③ 人道的支援を基本に据えつつ、各地域の独自性を生かし、地域密着型の奉仕を実践するためには、教育的奉仕や地域密着型の文化的奉仕、国際奉仕と幅広く適用されるのが望ましい。
- ④ 多くの会員が無理をせずに参加でき、喜びを共有できる奉仕活動で、長期、中期、短期であっても良い。
- ⑤ 新世代に関する奉仕が大切であり、クラブとしてはそこを重点に考えている。
- ⑥ 地域の子供たちが参加し、中心的に運用できる奉仕プロジェクトが大切である。
- ⑦ 地域青少年への健全育成（例えば、交通災害遺児に対する支援、プロスポーツ選手を目指す子供達への支援）。青少年に対して職業体験やキャンプ等で共同による生活体験ができるプロジェクト。
- ⑧ 社会貢献的なプロジェクトと新世代奉仕に繋がるプロジェクト：特に未来に羽ばたく少年のスポーツや芸術・学術を活かすお手伝いをするプロジェクト：社会に役立つ大人になるためのプログラム、道徳教育や家族愛、愛国心を育むプログラム。
- ⑨ クラブ単独では困難なので、数クラブ合同で、東南アジア地域へ応分のプロジェクト（飲料水・井戸設置、浄水装置・学校の教育設備等）を行っては如何かと思う。
- ⑩ 地域に密着した教育的奉仕と老人等を対象にした福祉的奉仕。少子高齢化社会に目を向けた奉仕活動が望ましい。

地区ロータリー財団委員会としては、各クラブでのこれらが意欲溢れる活動計画に対して、前向きに対応させて頂きたいと思っております。

また、これらのご提案に対しましては、地区の国際奉仕委員会や社会奉仕委員会等と協議を重ね、極力ご希望に添えるよう検討して参りますので、今後とも変わらぬ積極的なご提案・ご支援をお願い申し上げます。



第22回日本ロータリー 親睦ゴルフ北海道大会のご案内

謹啓 日増しに暖かくなってまいりました。

各位様におかれましては益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

北海道も雪が溶けはじめ、いよいよゴルフシーズンを迎えようとしています。志も新たに『第22回JGFR北海道大会』の開催を決定し、皆様にご案内申し上げますので多数のご参加をお待ちしております。

謹白

実施要項

- ◎大会日時 平成24年6月25日(月) 午前7時58分スタート
- ◎大会会場 小樽カントリー倶楽部 所在地：〒047-0261 北海道小樽市銭函3-73
TEL (0134)62-5051 FAX (0134)62-5666
- ◎参加資格 全国のロータリアン及び配偶者ならびにゲスト
- ◎競技方法 18ホールズストロークプレイ(新ペリア方式)
*スタート時間及び組合せ等は当競技実行委員会により決定致しますが、ご希望の組合せ等がございましたらお知らせ下さい。後日、組合せその他競技細目などは参加者各位様にご送付致します。
- ◎プレー代 15,000円前後です。 *高齢者割引あります。
- ◎参加登録費 登録費は15,000円(本大会ゴルフプレイ代金は含みません。お一人様料金)
ご夫婦でご参加をされる方はお二人で27,000円となります。
ゴルフをされない方の懇親会参加費は5,000円となります。
*参加登録費は、懇親会費及び賞品代その他事務経費となります。宿泊・交通費等は含まれません。
*小樽カントリー倶楽部メンバーの方は別途お申し出下さい。
参加登録費は参加お申し込みと同時に下記口座までお振込み下さい。
5月15日(火)までのご入金を確認されない場合は、正式な受付になりませんのでご了承下さい。
振込口座：北洋銀行 白石中央支店 普通口座 3834011 JGFR北海道大会事務局
*振込者名は必ず参加申込者名と同一の個人名にてお願いします。
*振込手数料は参加者負担となります。
*旅行費用(宿泊・旅費)のお支払いについては別の口座になりますので、ご注意願います。
- ◎参加取消及び氏名変更 平成24年5月22日(火)までに取消のお申し出があった方については大会終了後、送金手数料等の実費を差し引いて払い戻し致します。尚、それ以降の方については、払い戻しできませんので予めご了承下さい。(氏名変更の締切り期日も同様です。)
- ◎募集定員 120名(申込み先着にて定員に達し次第締め切らせて頂きますので予めご了承下さい。)
- ◎参加申込 平成24年5月15日(火)までに下記大会事務局まで電話又はFAXでお申込み下さい。
JT北海道小樽支店大会事務局 TEL：(0134)25-7826 FAX：(0134)34-1836
- ◎表彰式・懇親会 表彰式及び懇親会は大会終了後、下記により行いますので、全員ご参加下さい。
◇日時 平成24年6月25日(月)
◇場所 小樽カントリー倶楽部(レストラン)
◇成績発表、表彰式並びに賞品の授与は14:30頃を予定しています。
◇賞品授与は表彰式参加者のみを対象と致します。

第22回JGFR北海道大会についてのお問い合わせ

〒047-0032 北海道小樽市稲穂3-7-4 朝日生命小樽ビル1F
(株)JT北海道小樽支店 大会事務局受付 担当：赤石 憲治・石塚 庸子
TEL：(0134)25-7826 FAX：(0134)34-1836

新千歳空港国際線ターミナルビル募金箱設置事業

千歳セントラルロータリークラブ

2010 - 2011年度に創立20周年を迎えた我がクラブは、記念事業として「世界の恵まれない子供達への支援」の為に常設募金箱を、北海道空港のご理解とご協力を得て、2011年11月8日、同空港国際線ターミナルビル2・3Fロビー内に2ヶ所設置することが出来ました。

当日は、例会後出席メンバー全員が空港に移動し設置状況の確認と除幕式を行いました。その際、地元紙の取材も受け広く地域の皆様知って戴けることと成りました。

日本語、英語、中国語、韓国語で空港を利用される日本人や外国人の方々に「不要となったコイン等の善意の寄付」をお願いするメッセージを募金箱に書き、皆様の浄財を回収する運びと成りました。

現在までに二回の回収を行い、日本円のみ合計額が67,611円となり、2012年3月21日に「財団法人ロータリー米山記念奨学会」に寄付させて頂きました。又外貨につきましては7月に「ユニセフ」に寄付し「世界の恵まれない子供達」のもとへ還元致します。

因に、アジアを中心とする13カ国以上の国々の方々が寄付をして下さいました。2510地区（当地区）では江別RC、札幌東RCの会員の方々からもご寄付を頂きました。

ご協力を頂きました多くの皆様には衷心より感謝とお礼を申し上げます。又全国のロータリアンの皆様が北海道にお越しの際には、是非一度ロータリーマークの付いた募金箱をご覧頂ければ幸いと存じます。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

◆米山功労者	岩見沢RC	小林 弘明 会員（5回）2月29日	新札幌RC	田中 由彦 会員（1回）2月28日	
岩見沢RC	西尾 行夫 会員（2回）2月29日	岩見沢RC	倉増 秀昭 会員（6回）2月29日	新札幌RC	石田 茂夫 会員（4回）2月28日
岩見沢RC	石田 豊明 会員（3回）2月29日	札幌はまなすRC	愛須 一史 会員（1回）2月24日	千歳RC	瀧澤 順久 会員（2回）2月28日
岩見沢RC	仲屋 成裕 会員（4回）2月29日	札幌はまなすRC	大石 春雄 会員（6回）2月24日	静内RC	富岡 豊 会員（1回）2月16日
岩見沢RC	嵯峨 義輝 会員（4回）2月29日	札幌西RC	岡崎 庚午 会員（4回）2月7日		

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー	札幌はまなすRC	坂田 文正 会員（1回）2月24日	江別西RC	西脇 信治 会員	2月15日		
芦別RC	岩間 珠一 会員（2回）2月17日	札幌はまなすRC	佐藤 一 会員（2回）2月24日	札幌はまなすRC	丹羽 肇 会員	2月24日	
芦別RC	吉村外茂二 会員（2回）2月17日	札幌はまなすRC	北川 敏夫 会員（1回）2月24日	札幌はまなすRC	坂田 淳二 会員	2月24日	
芦別RC	根井 弘 会員（2回）2月17日	札幌西RC	武田 智 会員（1回）2月9日	札幌はまなすRC	野村 勝隆 会員	2月24日	
芦別RC	瀬戸 一郎 会員（2回）2月17日	札幌西RC	上出 利光 会員（2回）2月9日	札幌はまなすRC	愛須 一史 会員	2月24日	
芦別RC	森沢 勲 会員（2回）2月17日	室蘭RC	平野 和典 会員（1回）2月10日	札幌はまなすRC	玉造 啓子 会員	2月24日	
芦別RC	神野 一民 会員（2回）2月17日	室蘭東RC	芝垣 美男 会員（1回）2月23日	札幌はまなすRC	高橋 輝夫 会員	2月24日	
芦別RC	北 正信 会員（2回）2月17日	◆ポール・ハリス・フェロー		札幌はまなすRC	徳物 葉子 会員	2月24日	
芦別RC	小西 修身 会員（2回）2月17日	浦河RC	吉川 滋政 会員	1月31日	札幌西RC	北島 清 会員	2月9日
芦別RC	山村 進 会員（1回）2月17日	芦別RC	北村 憲男 会員	2月17日	室蘭東RC	松永 英樹 会員	2月23日
芦別RC	竹原 幸盛 会員（1回）2月17日	芦別RC	梅田 正孝 会員	2月17日	函館RC	菅野 剛造 会員	2月29日
芦別RC	岡本 幸男 会員（1回）2月17日	芦別RC	小畑 陽彦 会員	2月17日			



新会員のご紹介

(敬称略)



静内RC
小國 和紀
1月11日入会
軽種馬育成



静内RC
新田 憲一
1月11日入会
水産仲卸



小樽RC
小澤 扁理
3月6日入会
ホテル

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈り致します



岩本信平会員 (室蘭北RC)

2012年2月18日逝去(享年61歳)

【ロータリー歴】

1985年12月17日 入会
1992～93年度 幹事
2007～08年度 会長
2011～12年度 地区米山記念奨学委員

【表彰関係】

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

クラブ事務所 所在地の変更 について

室蘭ロータリークラブの事務所所在地が、3月30日より下記に変更となりましたので
お知らせ致します。宜しくお願い申し上げます

新住所 〒051-0011 室蘭市中央町2丁目8-10
電話番号、FAX番号は変更ありません。

文庫 通信



(294号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された
皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利
用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹
介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページで
PDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。
以下資料のご紹介を致します。

ロータリー創立記念日にあたって

- ◎ 「70周年に当り創世期のロータリーを憶う」 平島健次郎 1975 7p (ロータリー入門)
- ◎ 「これがロータリーだ」 直木太一郎 1983 41p (私のロータリー. 50年)
- ◎ 「平凡で偉大なロータリー精神」 末永直行 1972 20p
- ◎ 「シェルドン…忘れ得ぬその名」 ジョン O. ナットソン：神崎正陳訳 1998 12p
- ◎ 「ロータリー財団の父 アーチ C. クランフの人となり」 鳴海淳郎 2000 9p
- ◎ 「ロータリー進化論」 前原勝樹 1985 19p
- ◎ 「ロータリーの組織と奉仕」 深川純一 2001 68p
- ◎ 「ロータリー広報乃王道」 佐藤千壽 1997 34p
- ◎ 「米山梅吉と日本のロータリー (抄)」 長井盛至 1983 31p
- ◎ 「四つのクラブの七つの驚き (おゝロータリアン)」 安積得也 1977 44p

[上記申込先：ロータリー文庫]

- ◎ 「我が自叙伝」 ハーバートJ.テラー著；菅野多利雄訳 1990 219p

[申込先：緑ヶ丘病院 FAX (022) 365-3000]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506
開館/午前10時～午後5時 休館/土・日・祝祭日 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>



地区カレンダー（4月・5月）

4月 ローターリー雑誌月間		5月	
1(日)		1(火)	
2(月)		2(水)	
3(火)		3(木)	憲法記念日
4(水)		4(金)	みどりの日
5(木)		5(土)	こどもの日
6(金)		6(日)	～9(水) 国際大会(タイ・バンコク)
7(土)		7(月)	
8(日)	2012-13年度地区協議会(新ひだか)	8(火)	
9(月)		9(水)	
10(火)		10(木)	
11(水)		11(金)	
12(木)		12(土)	
13(金)		13(日)	
14(土)		14(月)	
15(日)		15(火)	
16(月)		16(水)	
17(火)		17(木)	
18(水)		18(金)	
19(木)	札幌西北RC創立35周年記念式典(札幌)	19(土)	岩内RC創立50周年記念式典予定
20(金)	～21(土) 韓国第3700地区大会(大邱)	20(日)	第1グループIM予定
21(土)		21(月)	
22(日)	江別西RC創立20周年記念式典(江別)	22(火)	
23(月)		23(水)	
24(火)	GSE派遣チーム壮行会(札幌)	24(木)	
25(水)		25(金)	
26(木)		26(土)	苫小牧東RC創立20周年記念式典(苫小牧) 北海道米山記念学友会家族懇親会
27(金)		27(日)	
28(土)	～29(日) 第17回ロータリー-日本青少年交換研究会(札幌)	28(月)	
29(日)	昭和の日	29(火)	
30(月)	振替休日	30(水)	
		31(木)	

2012年4月のロータリーレート 1ドル82円



出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会数	会 員 数				出席率
			2011.7.1	2012.2.29	増減	内女性	
1	深 川	4	33	37	4	2	82.00
	羽 幌	4	50	48	-2	2	72.34
	妹 背 牛	4	9	10	1	0	92.50
	留 萌	4	44	42	-2	3	73.12
	小 計		136	137	1	7	79.99
2	赤 平	4	29	28	-1	0	75.05
	芦 別	4	37	38	1	1	79.86
	砂 川	5	48	50	2	0	95.34
	滝 川	4	84	86	2	2	71.50
	小 計		198	202	4	3	80.44
3	美 唄	4	34	35	1	0	84.12
	江 別	4	29	35	6	2	77.85
	江 別 西	3	25	27	2	3	85.20
	岩 見 沢	4	81	83	2	0	87.68
	岩 見 沢 東	4	23	22	-1	4	87.33
	栗 沢	3	23	23	0	1	97.10
	栗 山	4	27	25	-2	2	97.00
	当 別	4	28	27	-1	0	87.75
	小 計		270	277	7	12	88.00
4	札 幌	5	115	126	11	0	96.99
	札幌あけぼの	3	15	16	1	2	100.00
	札幌はまなす	4	18	18	0	3	83.33
	札 幌 北	3	39	36	-3	4	88.11
	札幌モーニング	4	47	47	0	0	68.02
	札 幌 西	4	53	53	0	5	87.09
	札 幌 西 北	4	31	32	1	4	88.52
	札 幌 手 稲	3	35	33	-2	3	94.89
	小 計		353	361	8	21	88.37
5	札 幌 東	4	110	116	6	0	98.33
	札 幌 清 田	4	19	20	1	6	97.06
	札 幌 幌 南	4	51	52	1	0	100.00
	札幌真駒内	4	26	26	0	3	100.00
	札 幌 南	4	77	81	4	0	99.08
	札幌大通公園	4	8	10	2	1	72.50
	札幌セントラル	4	9	7	-2	3	82.10
	新 札 幌	5	28	27	-1	3	75.14
小 計		328	339	11	16	90.53	
6	岩 内	4	20	20	0	0	78.47
	倶 知 安	3	39	38	-1	6	76.00
	小 樽	4	66	70	4	0	94.42
	小 樽 南	4	72	73	1	2	92.23
	小 樽 銭 函	4	20	19	-1	2	86.84
	蘭 越	4	8	10	2	0	100.00
	余 市	4	42	43	1	4	83.10
	小 計		267	273	6	14	87.29

2月出席率・
会員増減数

クラブ数	72クラブ
期首会員数	2,573人
当月末会員数(女性)	2,644人(118人)
増加会員数	71人
当月平均出席率	85.35%

グループ	クラブ名	例 会数	会 員 数				出席率
			2011.7.1	2012.2.29	増減	内女性	
7	千 歳	4	54	54	0	3	73.90
	千歳セントラル	4	32	35	3	2	80.87
	恵 庭	4	47	44	-3	3	89.07
	北 広 島	3	12	16	4	0	90.63
	長 沼	4	20	19	-1	3	79.00
	由 仁	4	9	9	0	1	91.67
小 計		174	177	3	12	84.19	
8	え り も	4	22	26	4	1	91.35
	三 石	4	15	15	0	2	65.00
	様 似	3	23	23	0	1	71.30
	静 内	5	69	74	5	0	66.02
	浦 河	4	34	37	3	2	91.67
	小 計		163	175	12	6	77.07
9	伊 達	4	56	56	0	0	78.18
	室 蘭	4	37	40	3	0	85.90
	室 蘭 東	5	37	39	2	0	90.68
	室 蘭 北	4	38	35	-3	2	100.00
	登 別	5	32	32	0	1	84.38
	洞 爺 湖	4	10	10	0	0	95.00
小 計		210	212	2	3	89.02	
10	函 館	4	77	83	6	0	89.08
	函 館 亀 田	4	39	38	-1	4	91.74
	森	4	40	44	4	0	72.00
	七 飯	4	14	14	0	0	74.99
	長 万 部	5	7	8	1	0	80.00
函館セントラル	4	29	30	1	2	74.17	
小 計		206	217	11	6	80.33	
11	江 差	4	11	10	-1	1	95.00
	函館五稜郭	4	43	41	-2	0	90.87
	函 館 東	4	45	44	-1	6	78.25
	函 館 北	4	23	24	1	0	94.79
	北 斗	4	17	15	-2	0	61.60
	松 前	4	3	3	0	0	66.00
小 計		142	137	-5	7	81.09	
12	白 老	4	28	29	1	2	78.00
	苫 小 牧	4	48	53	5	2	91.25
	苫 小 牧 東	4	26	28	2	4	98.22
	苫 小 牧 北	4	24	27	3	3	97.00
	小 計		126	137	11	11	91.12
合 計		2,573	2,644	71	118	85.35	